

令和7年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。

・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。

・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。

・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(保健体育) 教科主任名 金子 拓豊

★教科・観点について  
学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。＜○成果 ▲課題＞

観点	前半～9月			後半～1月			次年度に向けて
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	まとめ
知識・技能	1年	○授業のルーティン化をし、生徒が次になにをするのかがわかるようにした。▲運動量を確保するため、授業での知識についての指導の時間が短くなってしまった。	各単元の初めに知識の説明や、授業のポイントの説明の時に知識項目をプリントを使用して説明する。	1年			
	2年	○授業内での運動量を増やしたことで、課題解決できた生徒が多かった。▲知識を活用した技能の獲得ができていない生徒が少なかった。	技能に結びつくための知識をわかりやすく伝える。また、ホワイトボードなどに要点をまとめて生徒が可視化できるようにする。	2年			
	3年	○授業内での運動時間を増やすことができた。○技能のポイントを細かく指導することができた。▲各単元の歴史や技能の名称などの知識について指導する時間が短くなってしまった。	各単元の初めの授業で知識についての説明をする。	3年			
思考・判断・表現	1年	○自分の考えを書きやすくするために、文章の例を載せたことで文章を具体的に記入することができた。▲課題について具体的に堂改善できるかまで考えたり、練習を工夫することができなかった。	課題点を克服するためにどんな練習をしたらいいかを選ぶように練習方法や工夫の仕方を教えて選びやすくようにする。	1年			
	2年	○仲間の動きのポイントやつまずきを見つけ、課題を伝える生徒が多かった。▲自己の課題に応じて練習方法を選択させることができなかった。	課題解決するための技能のポイントや練習方法などを多く提示する。多様な選択肢から生徒が解決できる方法を身に付けさせる。	2年			
	3年	○毎時間、ホワイトボードに段階を踏んだ課題を記載し、生徒たちはそれを見ながら自分の技能に見合った課題を選択し、取り組む姿が見られた。▲自分で一から課題を思考させることができなかった。	授業の中で自分の課題や改善策を考える時間を取り入れる。	3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	○集中して学習に向かう姿が見られた。▲ルールや動きが理解できず、安全に授業が行えないことがあった。	ルールや動きなどを明確にして掲示するなど、確認ができるようにする。	1年			
	2年	○学習に積極的に取り組む生徒が多かった。○用具の準備や片付けが意欲的な生徒がいた。▲不十分なルール理解から安全に授業を行えていない生徒がいた。	ルールを明確にすることや巡回指導を頻繁に行い、多くの生徒に目が行き届くようにする。	2年			
	3年	○授業開始前にホワイトボードに記載している本時の流れを確認する生徒が多かった。▲技能の基礎的な動きに対して意欲的に取り組まない生徒がいた。	生徒が興味をもって活動しやすいうにミニゲームなどを取り入れて退屈にならないようにする。	3年			